

授業科目 遺伝学と保健医療

【担当教員名】 藤原 直士	対象学年	1	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

遺伝学のおよみを概観し、遺伝情報を担う物質基盤、ヒトの遺伝のメカニズム、生命科学における遺伝子技術等、医療に携わる上で必要な遺伝に関する基本的知識を理解して、遺伝医学の保健医療における現代的意義と課題を考察する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

1. 遺伝学とは何か、また、遺伝学のおよみを知る
2. 遺伝情報を担う分子である、DNAやRNAについて、その役割を理解する。
3. 遺伝子の担体である染色体の構造と染色体異常について理解する。
4. ヒトの遺伝における、メンデル遺伝と非メンデル遺伝について理解し、遺伝子の変異と遺伝病の発症との関連を考察する。
5. 分子レベルでの遺伝子解析、遺伝子操作など、生命科学における遺伝子技術についての基本的事項を理解する。
6. 遺伝子診断、遺伝子治療のしくみを知り、遺伝子工学の医療への応用について生命倫理面から考察する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	遺伝に関する科学と遺伝学のおよみ		講義
2	遺伝情報と遺伝子		
3	遺伝子の担体としての染色体		
4	ヒトの遺伝と遺伝病（1）：メンデル遺伝病		
5	ヒトの遺伝と遺伝病（2）：非メンデル遺伝病		
6	遺伝のライフサイエンス（遺伝子技術）		
7	遺伝医学の展開と保健医療		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	『遺伝医学への招待』	新川詔夫, 阿部京子	(南江堂)	2005年・1800円
参考書				
その他の資料	講義資料プリント			

【評価方法】 出席状況および定期試験成績によって評価する。	【履修上の留意点】
----------------------------------	-----------